

V.M.
Ver. M
original

救世の勇者のヤリ部屋 II

R-18
成人向け



楽な仕事だぜ
なあ？

魔物ども
旦那にビビッて
逃げちまう

気を抜いちや
駄目よエイトー

弱い魔物が近付か
ないって事は
遭遇するのは
強い魔物なのよ

はっはっは
ミディの言う通りだ

エイトー！
その軽口が古龍でも
呼び寄せるかもしれんぞ！

中位冒険者
ダイン＝オーグル
準巨人(闘士)

中位冒険者
ミディ＝マルクマーシャ
半樹人(騎士)

中位冒険者
エイトー＝カサノバ
平人(侍者)

おつちやん
もつと言つて
やつてつ

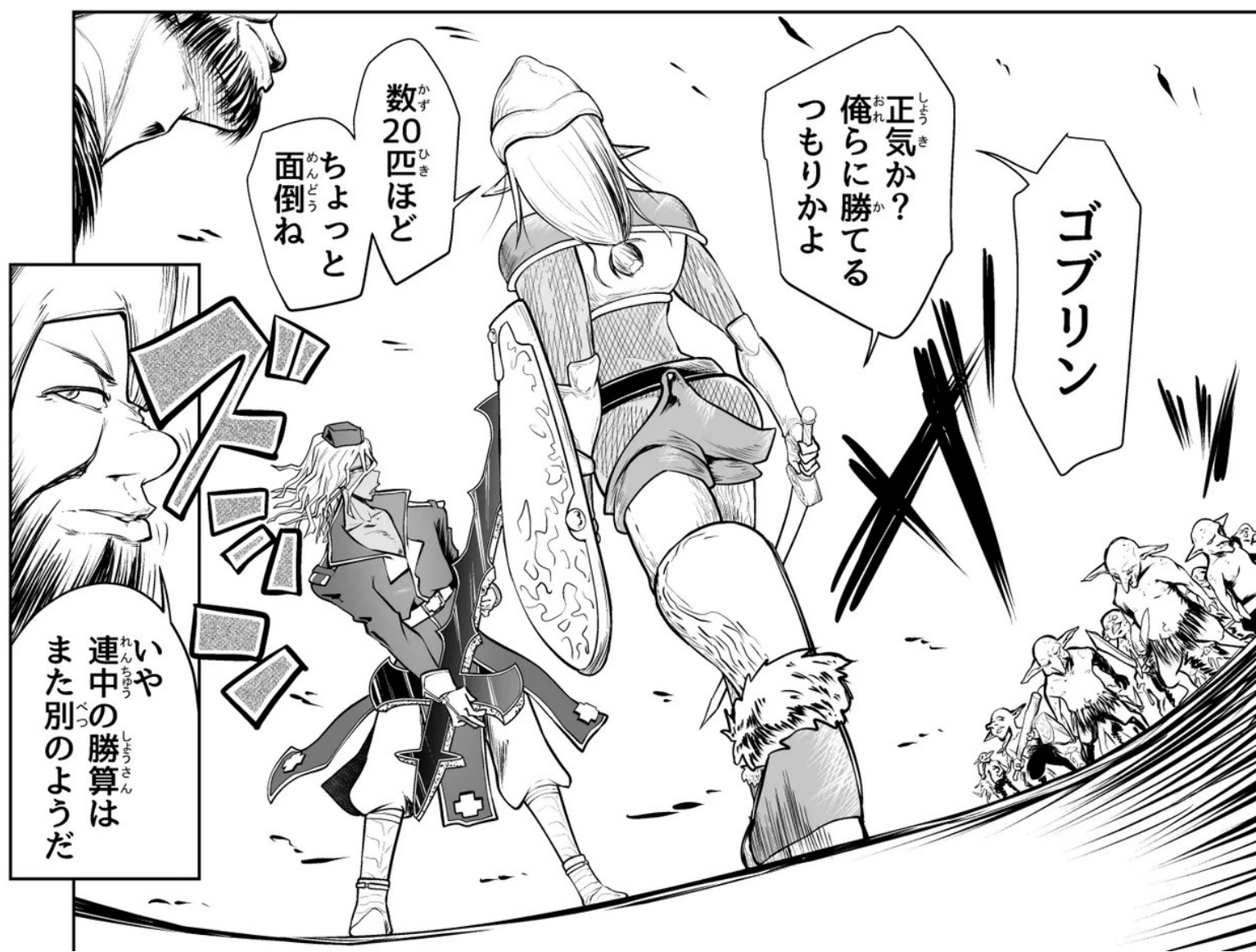
しかしエイトー殿の
言う事も一理ありますよ
こんな平和な旅は
そうありません

貴方方に
護衛を頼んで
正解でしたな

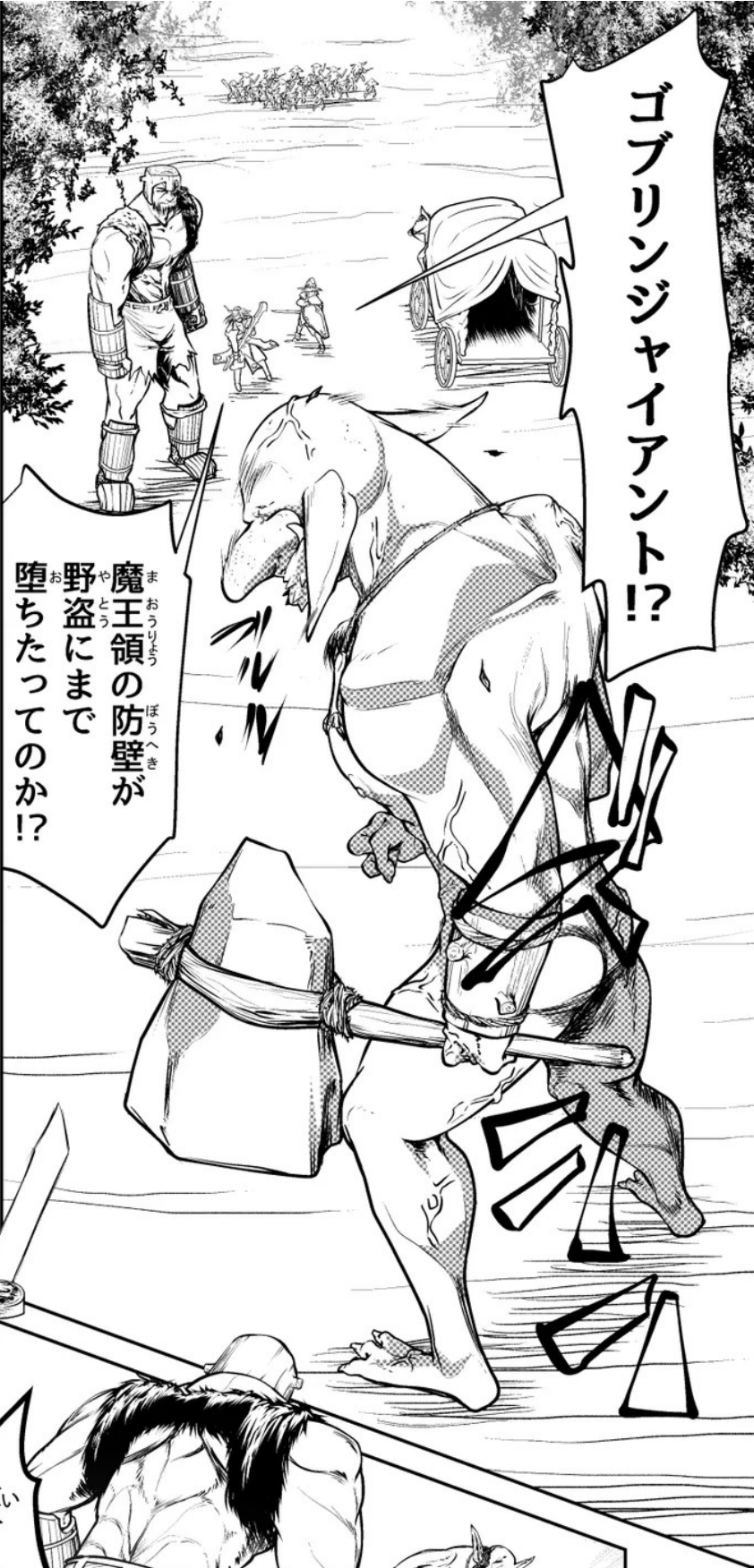
縁起でもねえや

おお！神よ！
か弱き我らに平穩な
旅を授けたまえ！

調子のいい奴だ
神様も呆れている
だろうよ



ゴブリンジヤイアント!?



魔王領の防壁が
野盗にまで
堕ちたつてのか!?

このデカイのは
俺が闘る



気を付けろ
馬殺られたら
終わりだぞ

わかって
ますって
頼みますぜ
旦那

おつちゃん
いつでも出せる
ようにしてくれ

あつ
ああ!

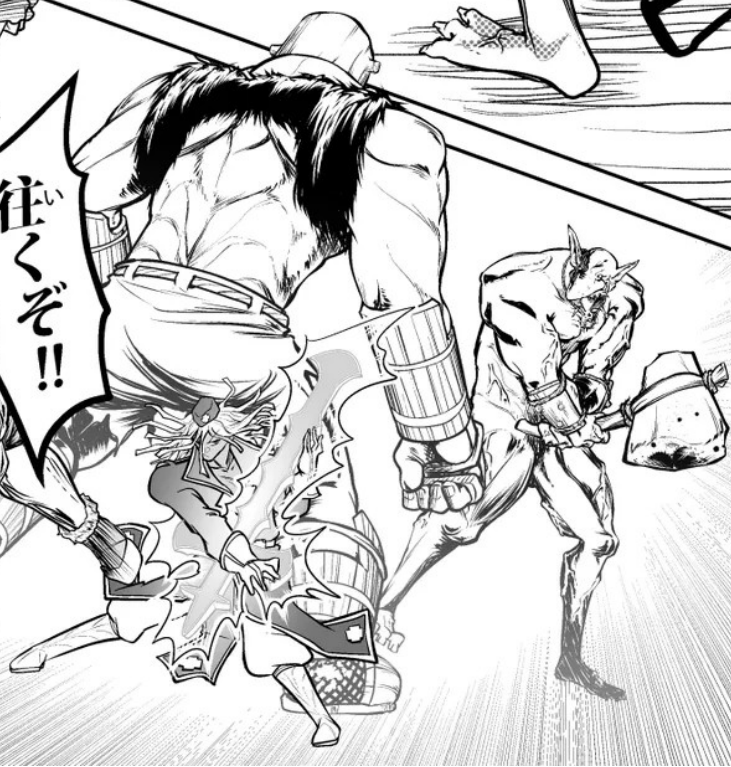


天高き
ナイガーニアの峰より
我が袂まで

誉れ高い勝利を
授けたまえ



往くぞ!!





醜い^{みにく} 晦冥^{かいめい}の輩^{ともがら}よ！

せめて
我が剣^{けん}の輝^{かがや}きの
糧^{かて}となれッ！

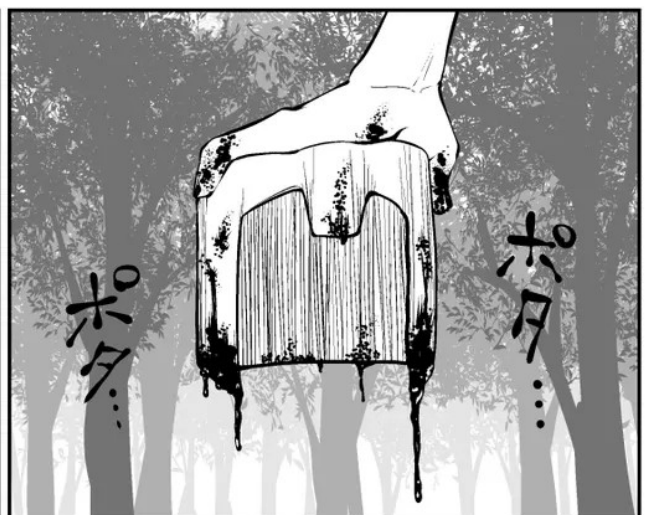
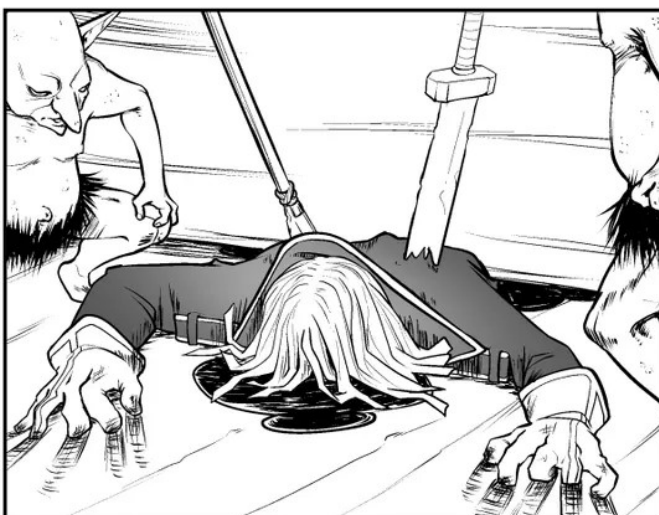
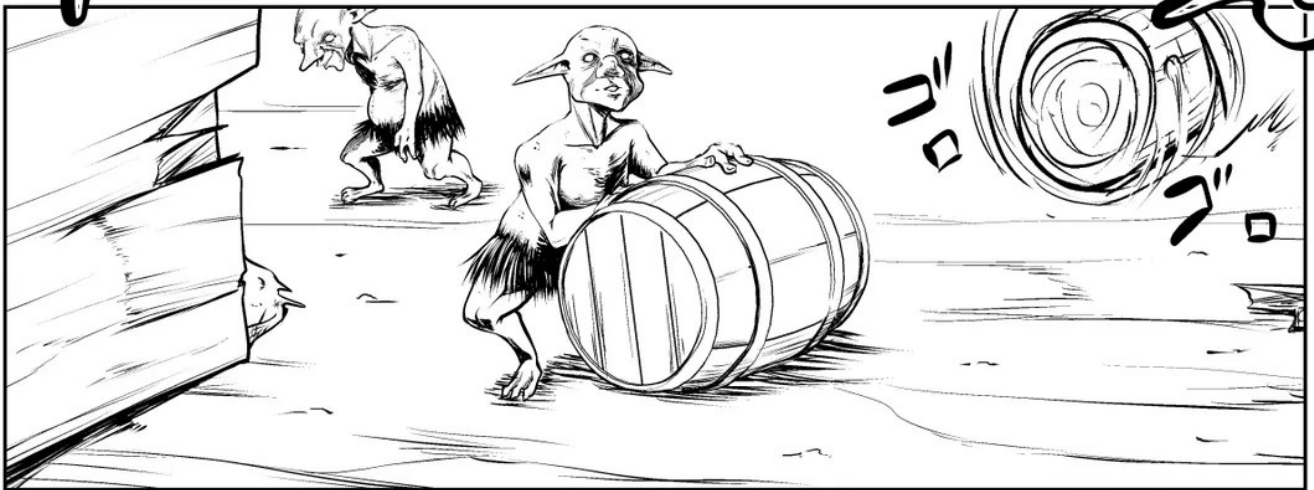
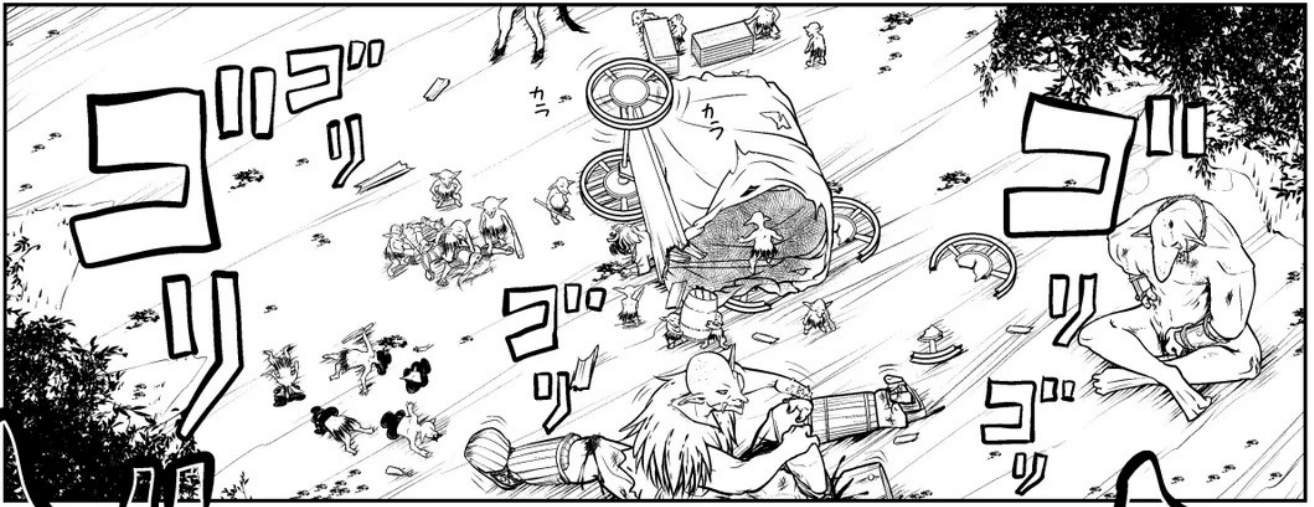


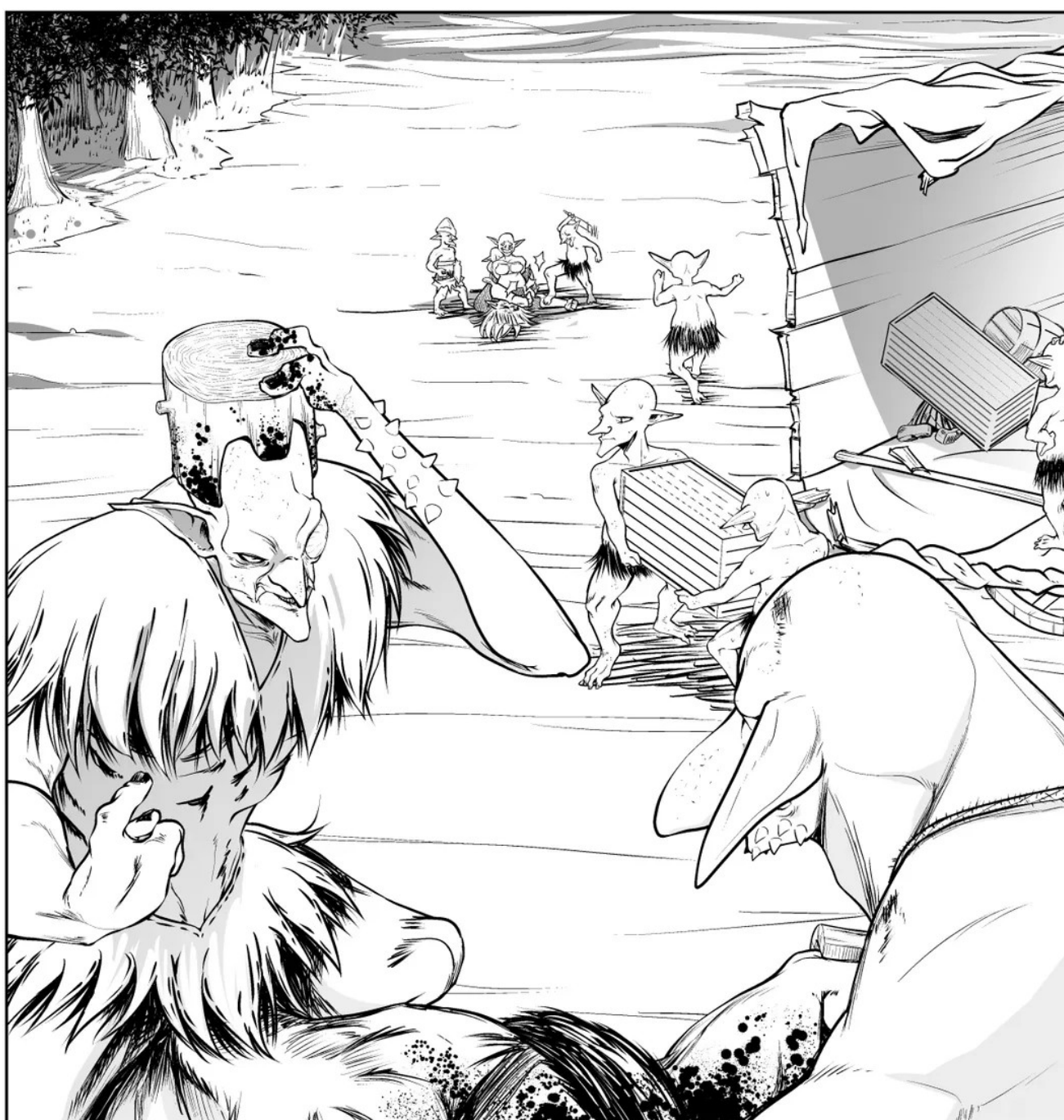
プライヤロックス
腕力強化!!!



かつせいほうじゅつ
活性法術







救世の勇者のやり部屋 Ⅲ

ゼフォントは

手を付けた女を
なかなか離さない

何度絶頂しても
萎えることなく

挿入したまま、
柔肌を撫で
舌を這わし

世界を救った
肉厚な身体で

掴まえた女を
何度も、何度も食る

おんなひときわ
女が一際
おおは
大きく跳ねて

くたつと、
静かに
終わった
終わりの合図

ゆうしゃ
勇者は次の
おんな
女の子を探さす

ゼフ
ゼフオントも
エメアが大好き

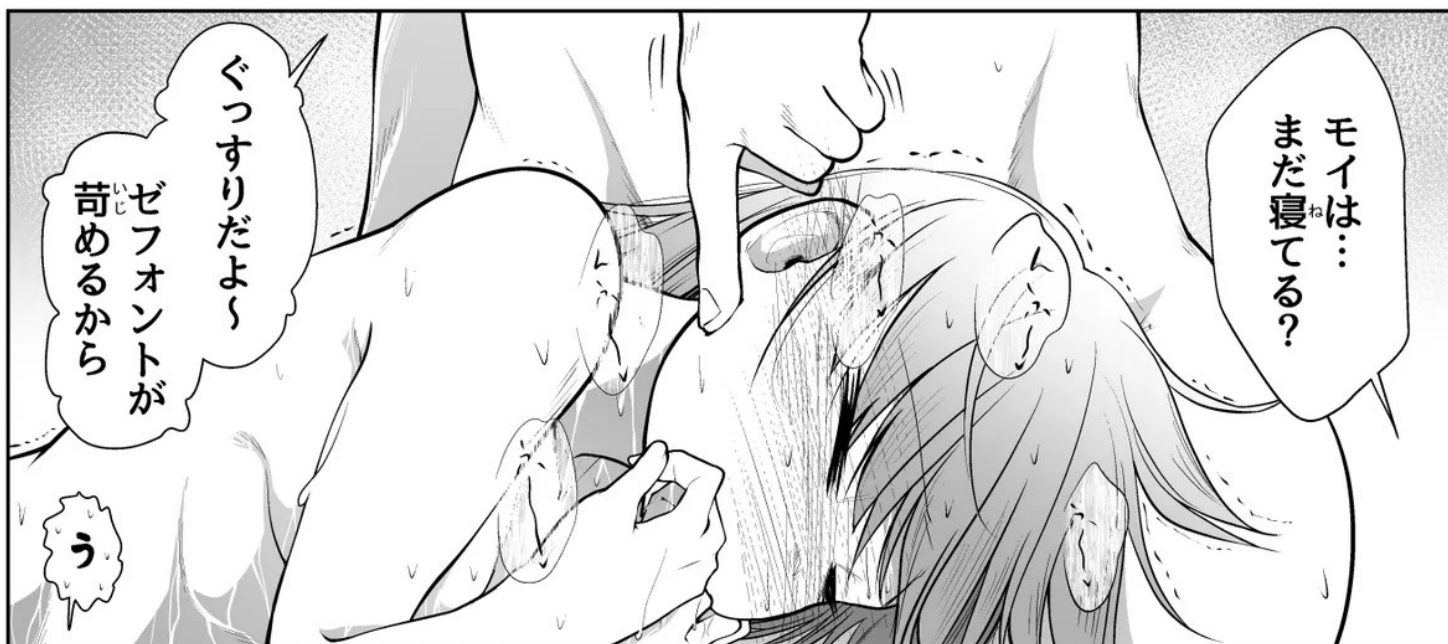


あの子は
エメア
ゼフオントの
事が大好きで

この子は
モイ

さいきん
最近
しんしつ
寝室入りした
かわい
可愛い子

3年越しの
私の「希望」







胸むねの中なかで力きから尽つきていくぜフオント様…
お眠ねむりになられる姿すがたを見守みまもることが
最上さいじょうの幸しあわせだったのに…
今いまでは私わがが落おとされる側がわ…

薄弱はくじやくな女おんなと
笑わらいなさい

あぶねー女おんなだなあ…

じゃあアレは？
左手ひだりてでナントカ
右手みぎてでカントカ
ってやつ



モイ

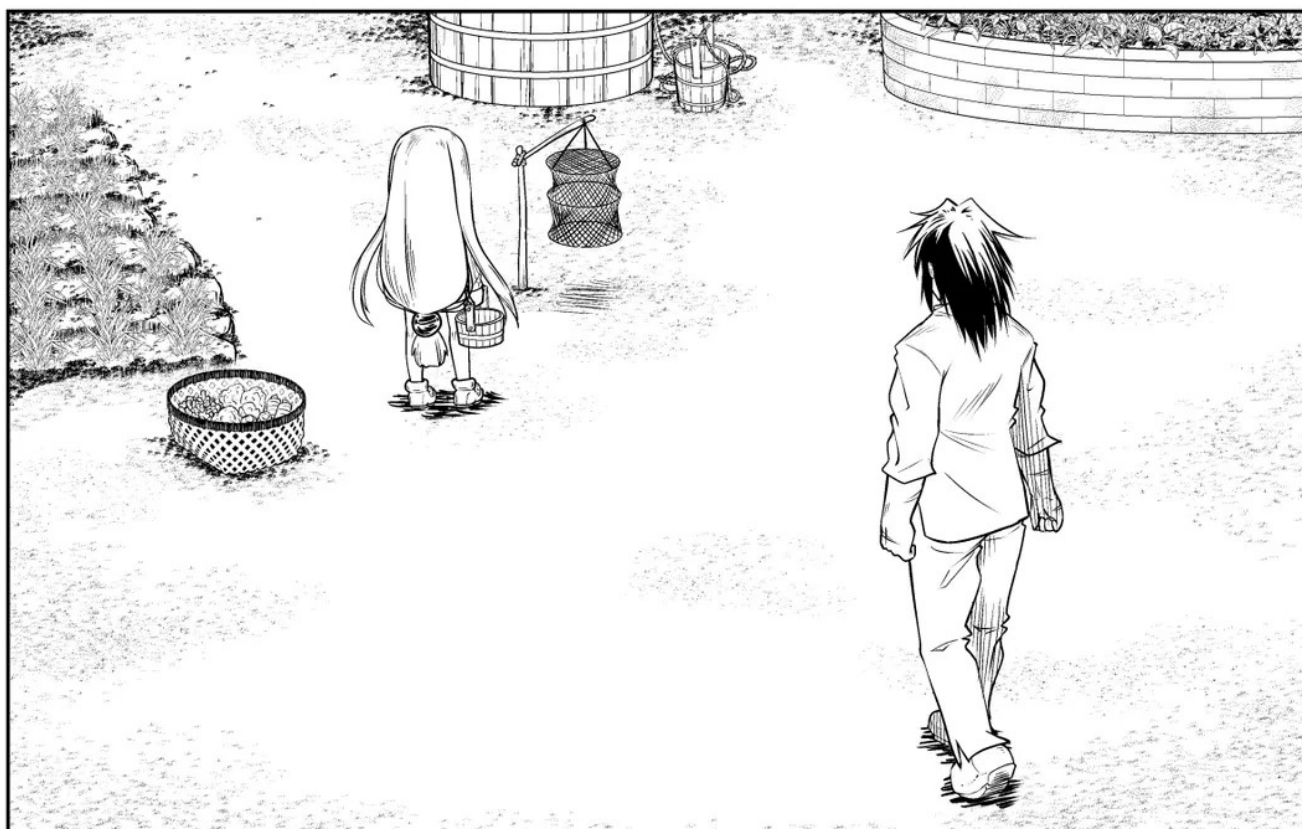
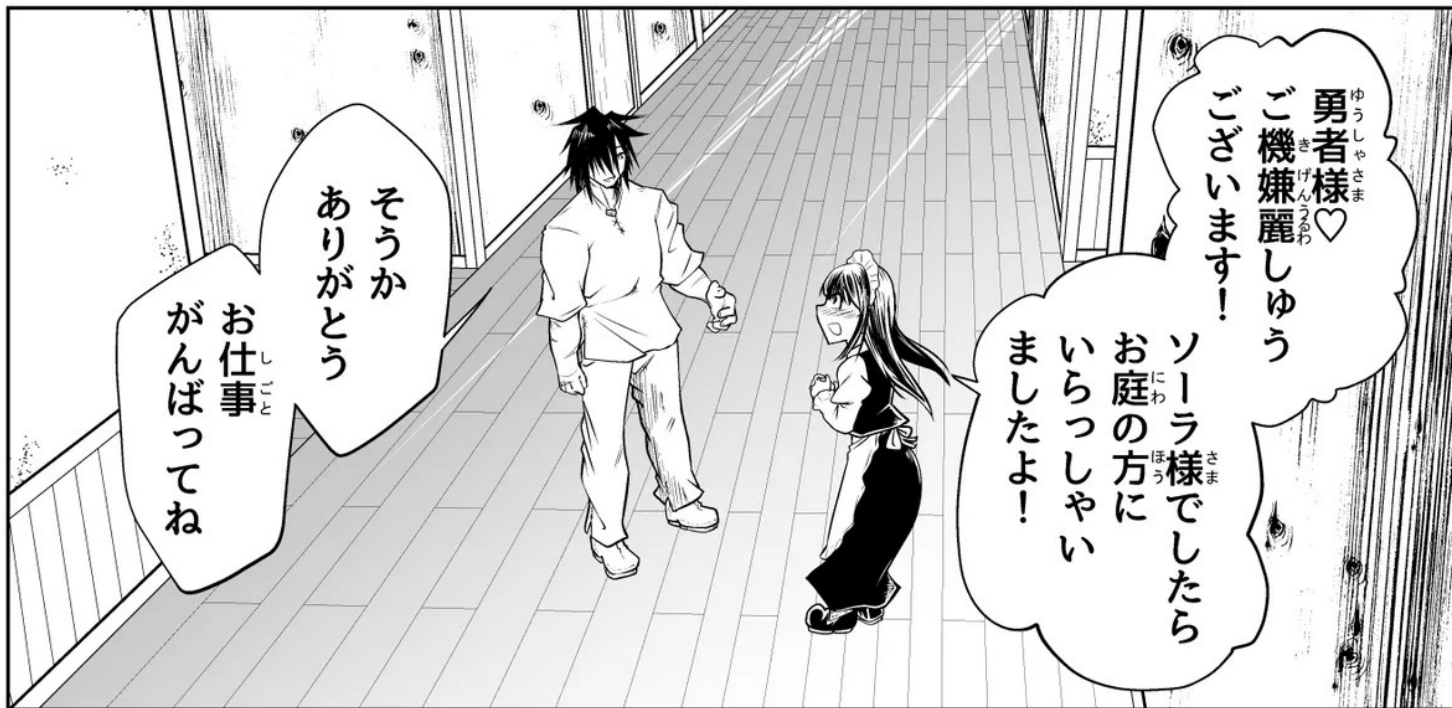
……………
それしてから
ゼフオント様さまに
恐こわがられてて…

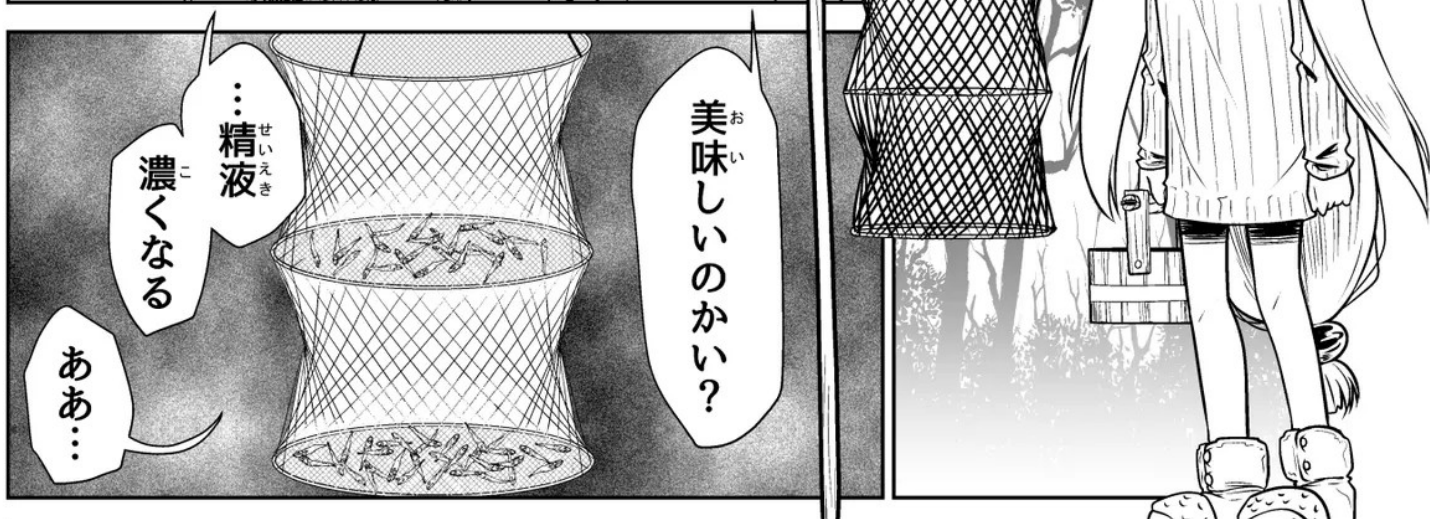
後ろうしに立つ度たびに
びくって
されるの辛つらい…

難儀なんぎな子こ…

やあ
ご苦労ごろうさま様

ソーラを
見みなかつたかい？







機嫌が悪いと
触った時点で
睨んでくるが…



今日
行けるか？

嫌がらないな…



い…いやまだ
可能性はある…
分水嶺は
もう少し先だ…

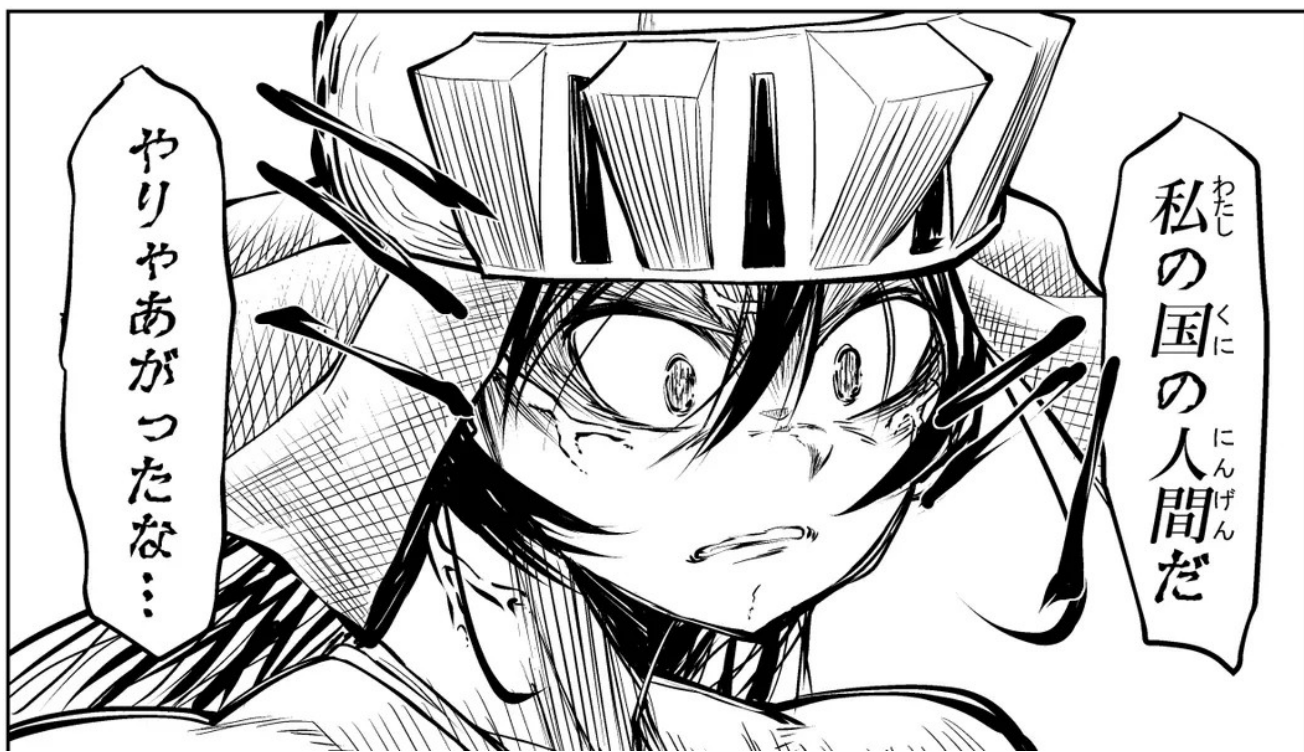


ほんとう
本当に駄目な時は
魔力球を作る…

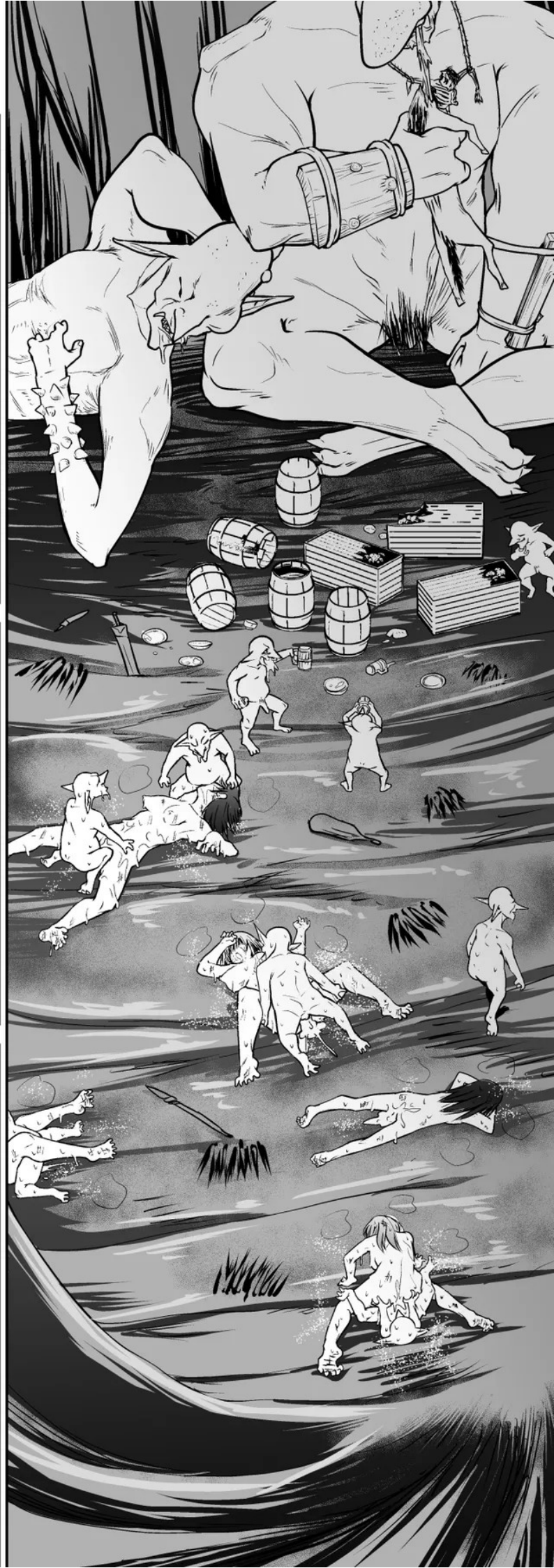
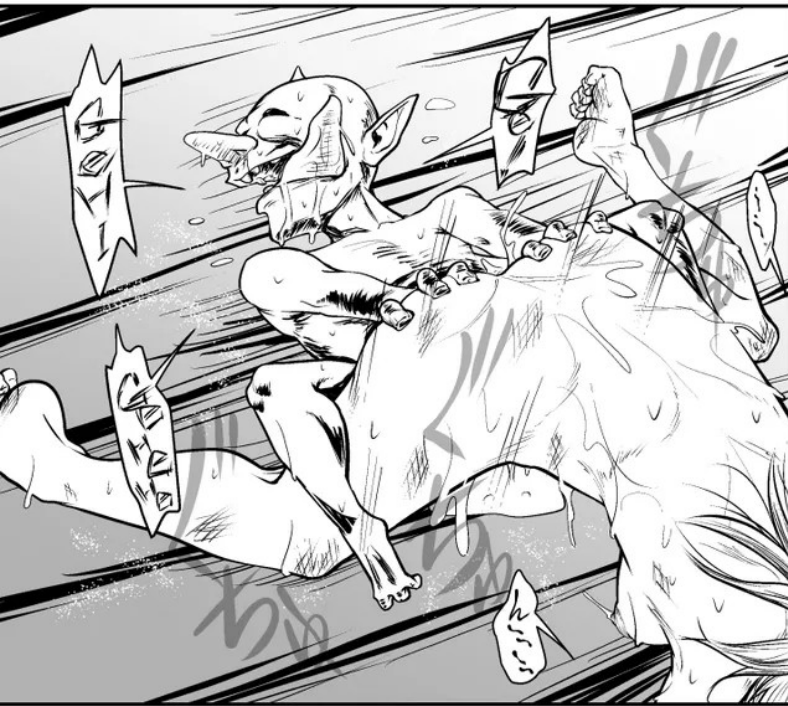
そこまで行ったら
アウトだ…
一秒後に火球が
飛んでくる







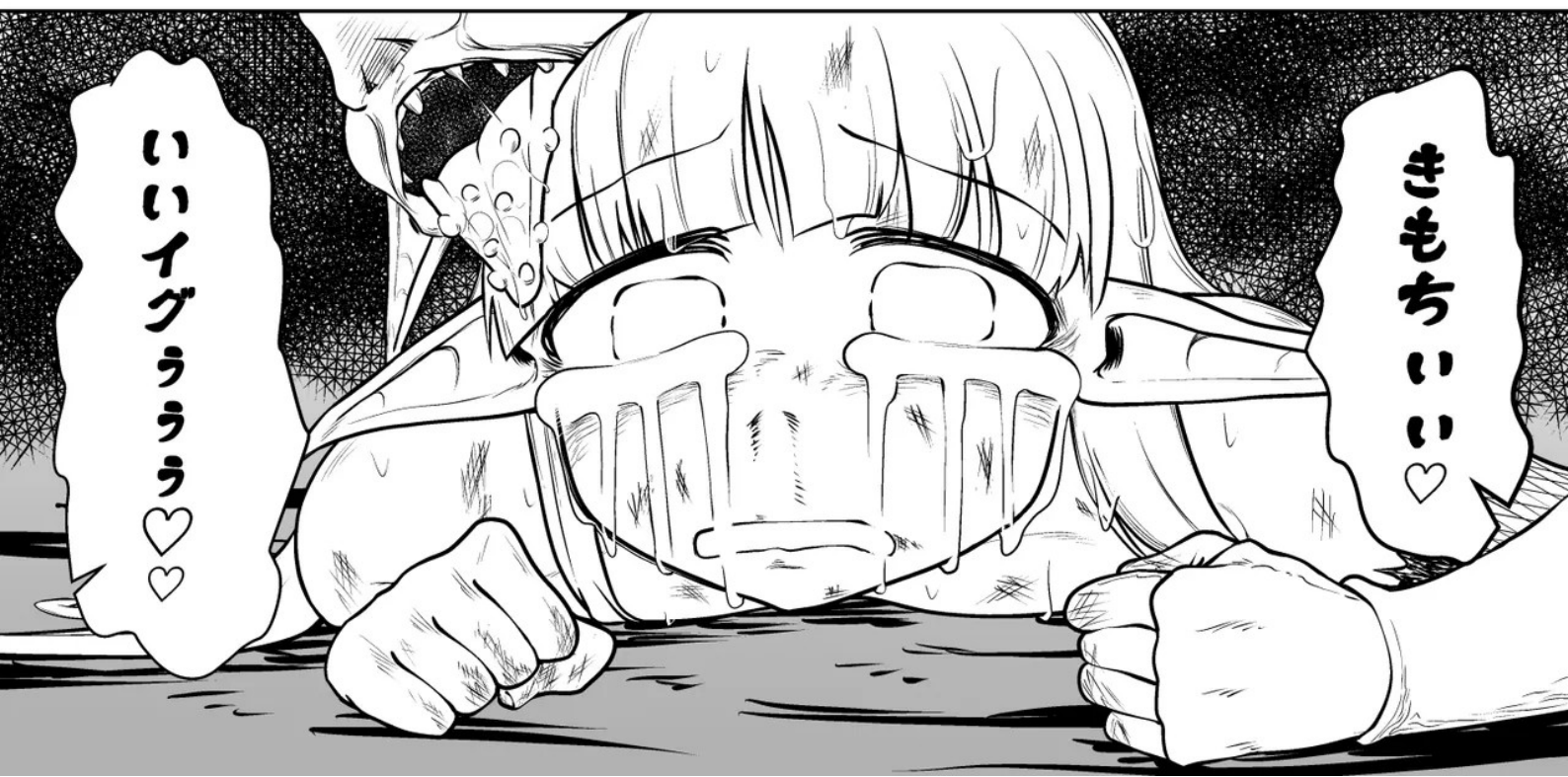
救世の勇者のやり部屋 Ⅲ

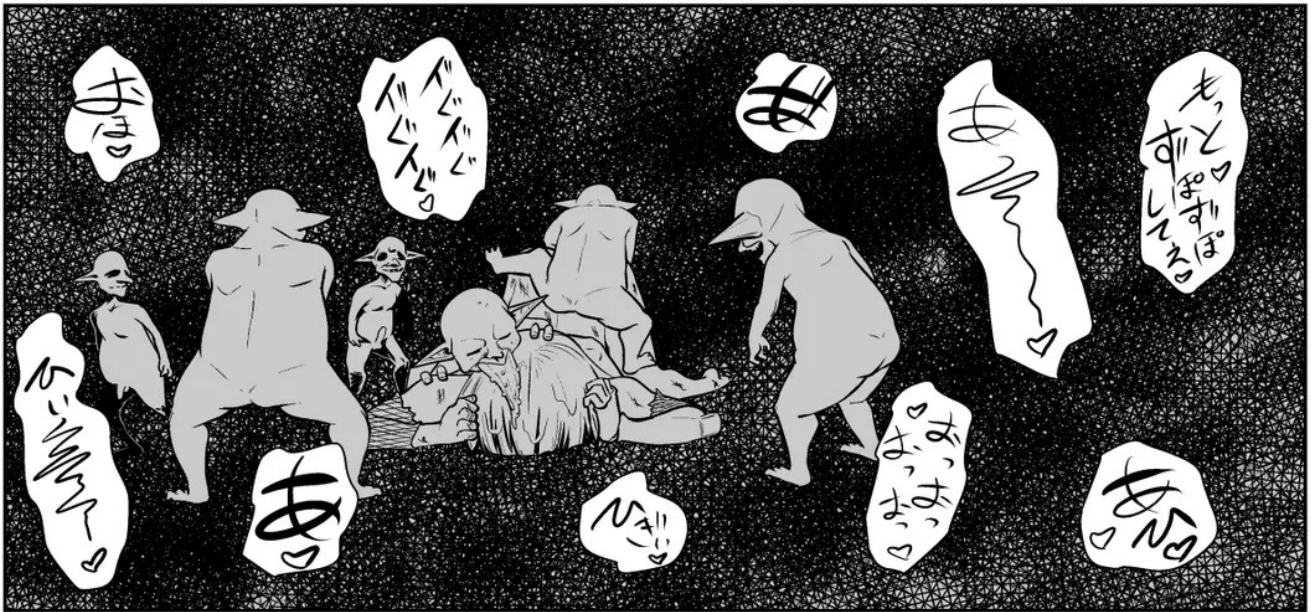


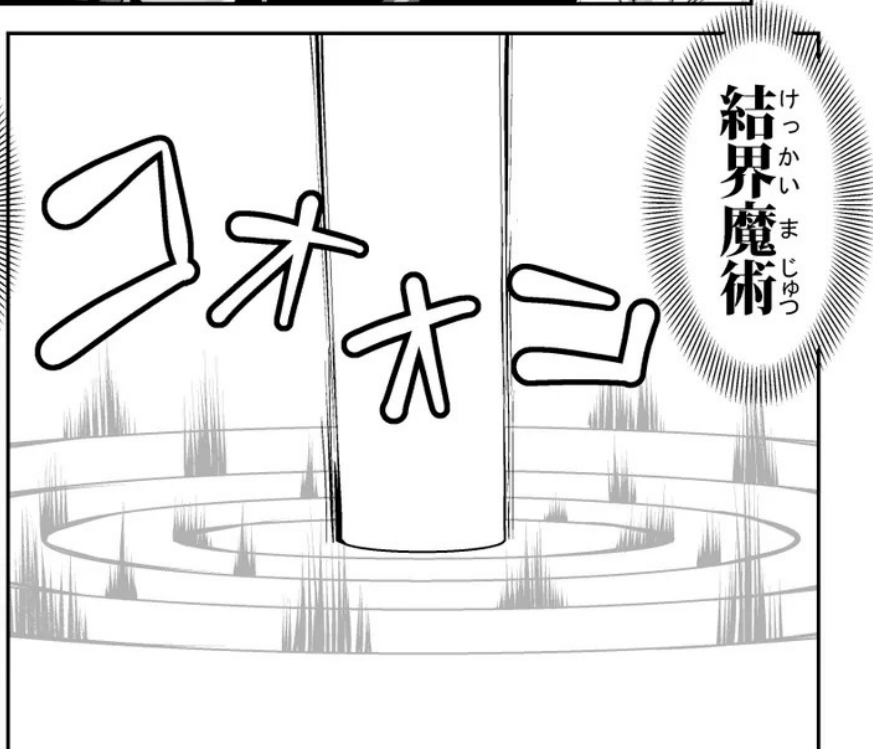
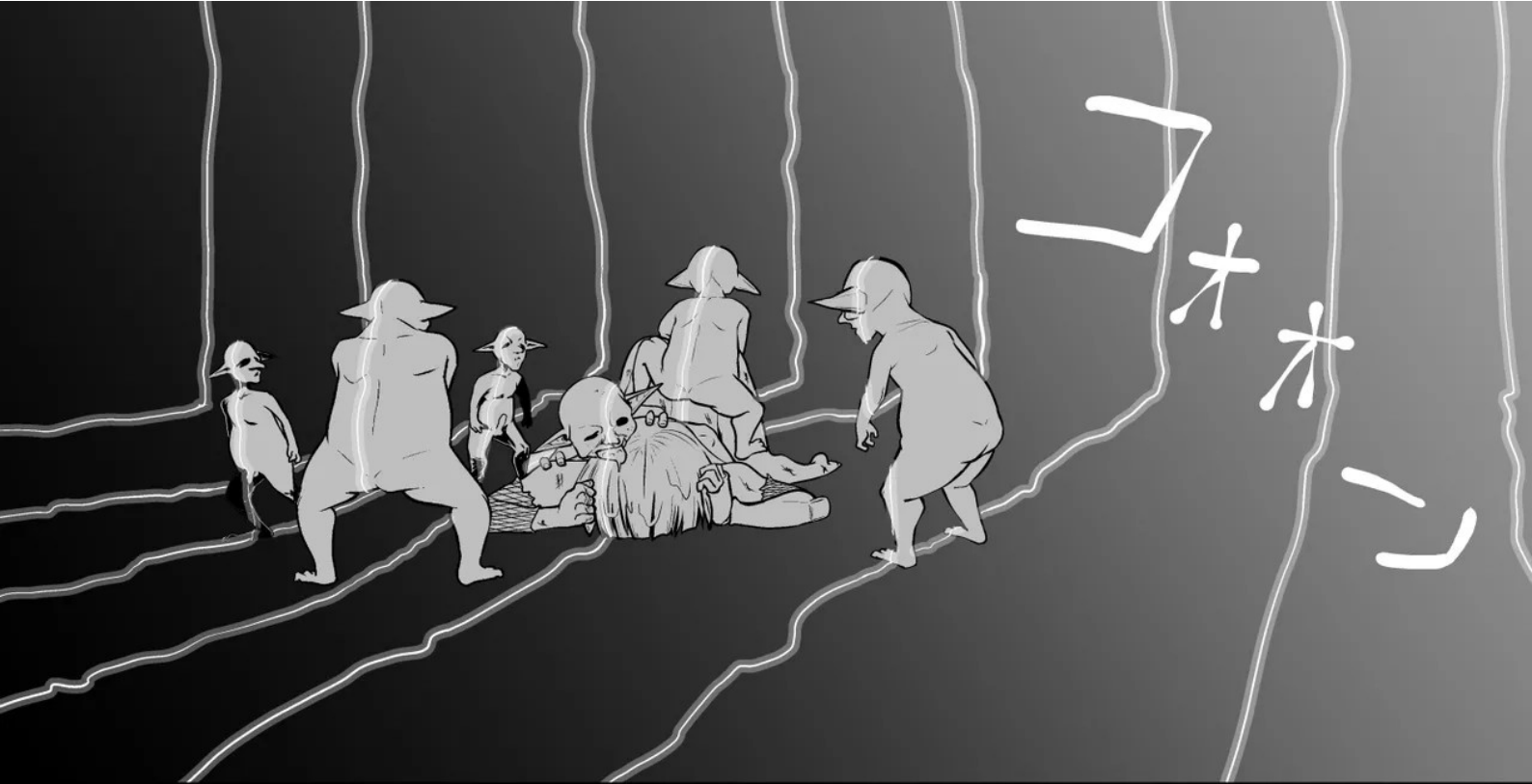












かんかくかくだいじゆほう
感覚拡大術法

「ミトトシマの万能感」 ばんのうかん



ぜんちよう
全長450歩ほど

やく
約200歩先

ふたまた
二又に分かれ道
ひだりて
左手が本命

GOAL

IN

りよう
虜囚も
そちらです



かず
数43体

うち
内39体
こちらに
向かって
きます

ぼく
いつも通りだ
僕が先行する



ああ

きたきた
ブチギレてる
ゼフォント
頭目は
残しといて



「救世」の勇者
ゼフォントの
装備する兜
「炯眼」は

ゼフォントの父
「炯眼」の勇者

モハメゼ・
ツリーリンの
遺した形見

装備者に「看破」の
加護を施し

『視る』ことが
可能となる

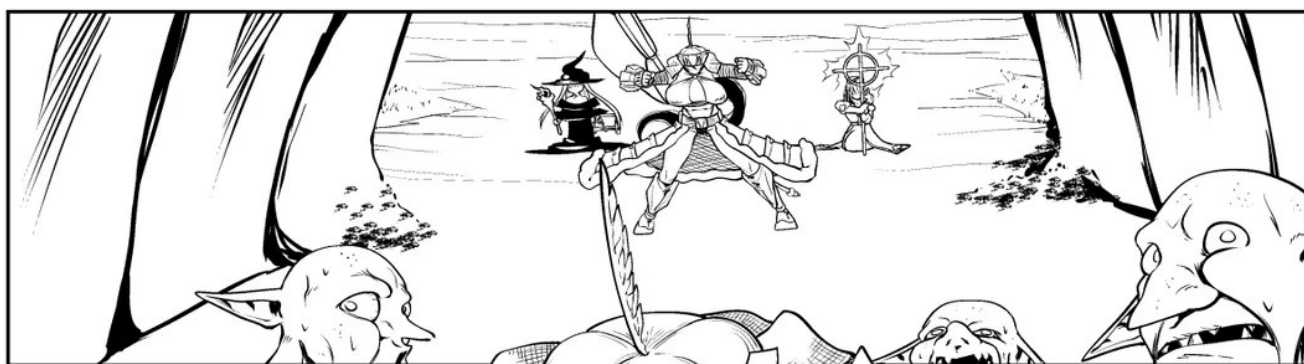
暗闇であろうと、白光の下であろうと、幻の中であろうと、



どっちが
とうもく
頭目だい？



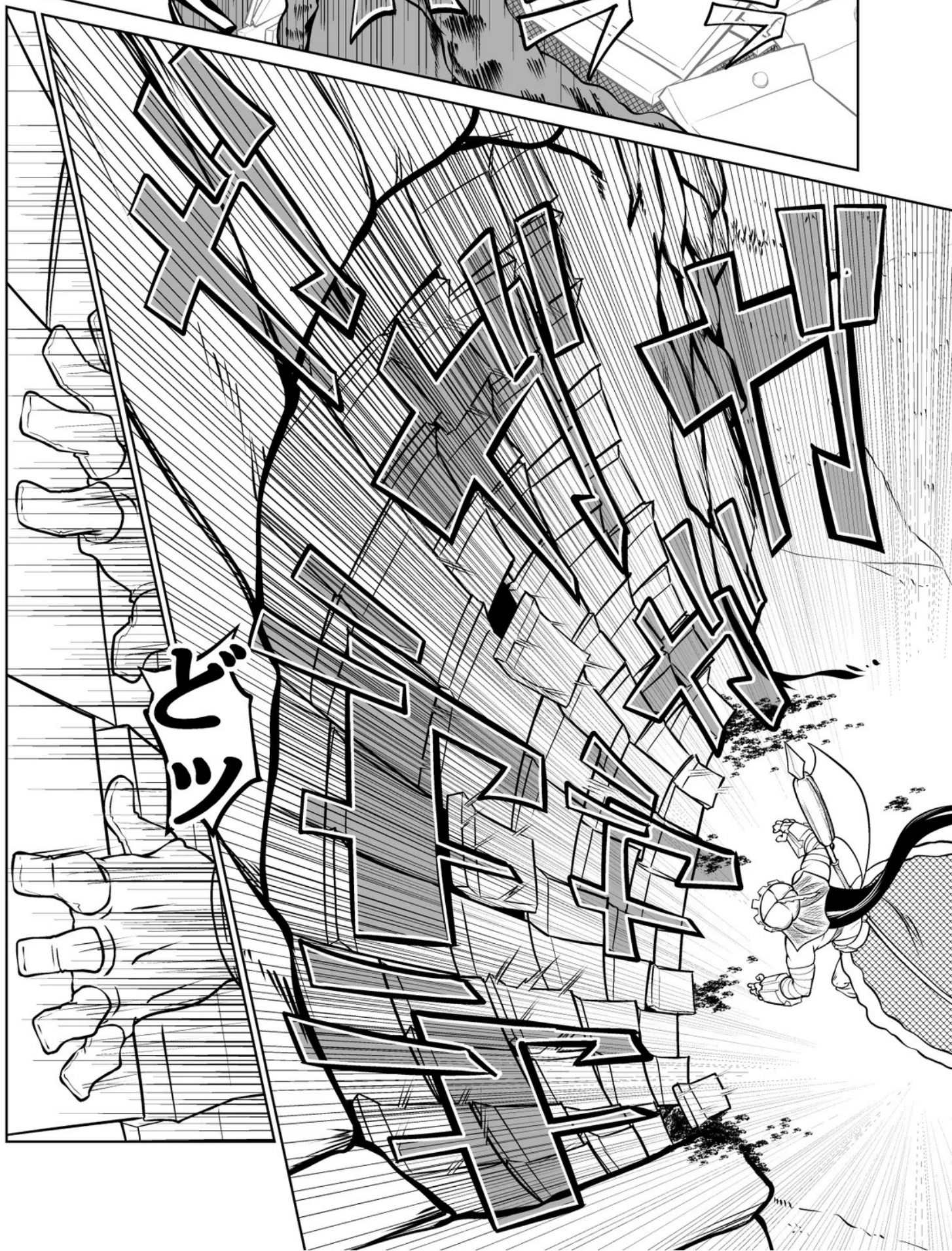
おお
大きいのが
2
たい
いるな



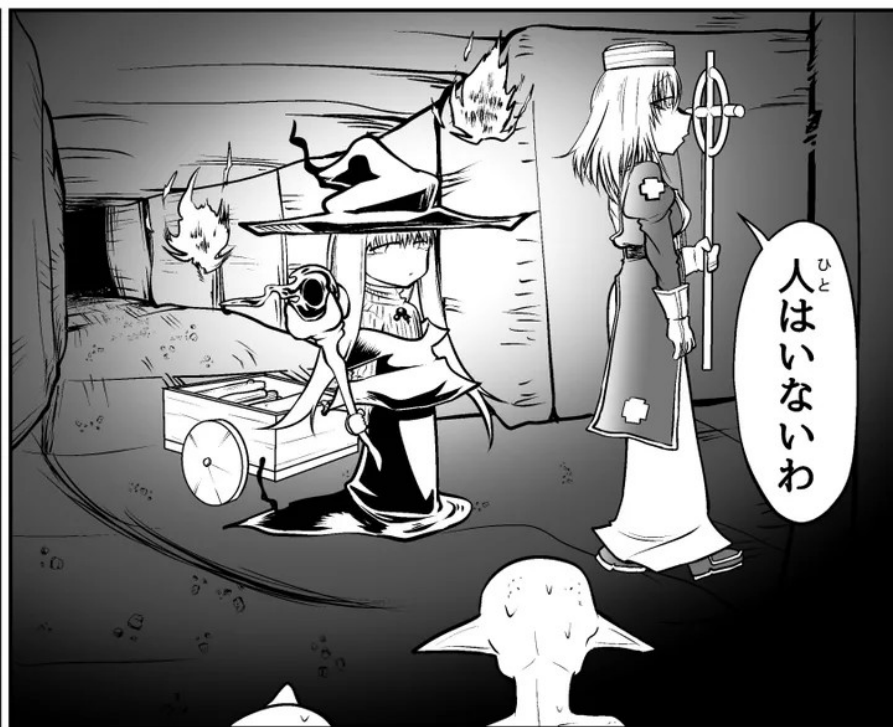
ころ
転がり
ち
散らがり

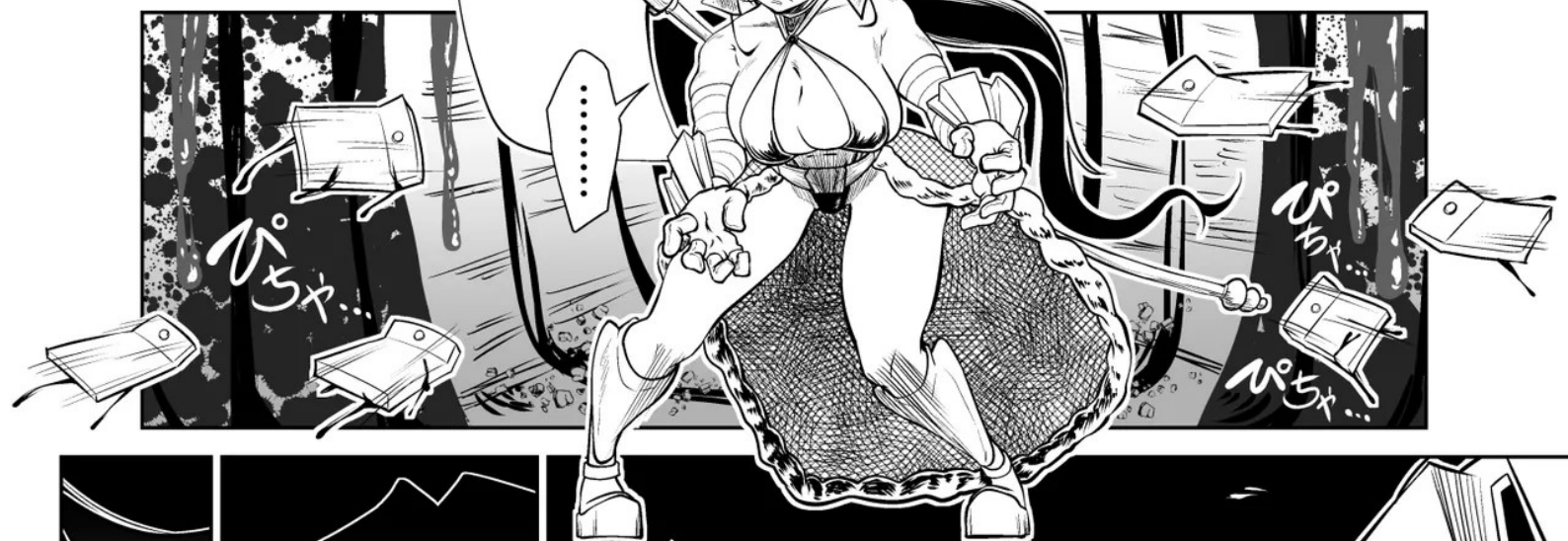
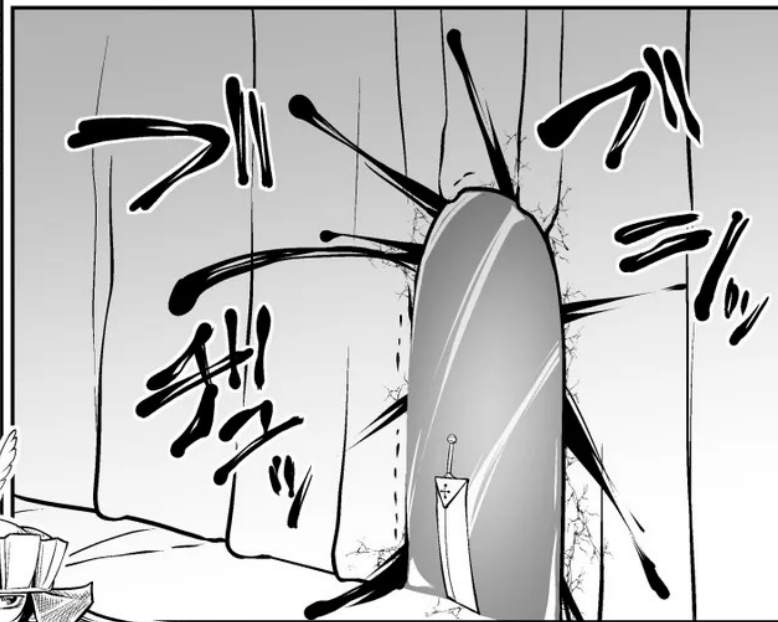
おうけ
王家の飛盾よ
ひじゅん

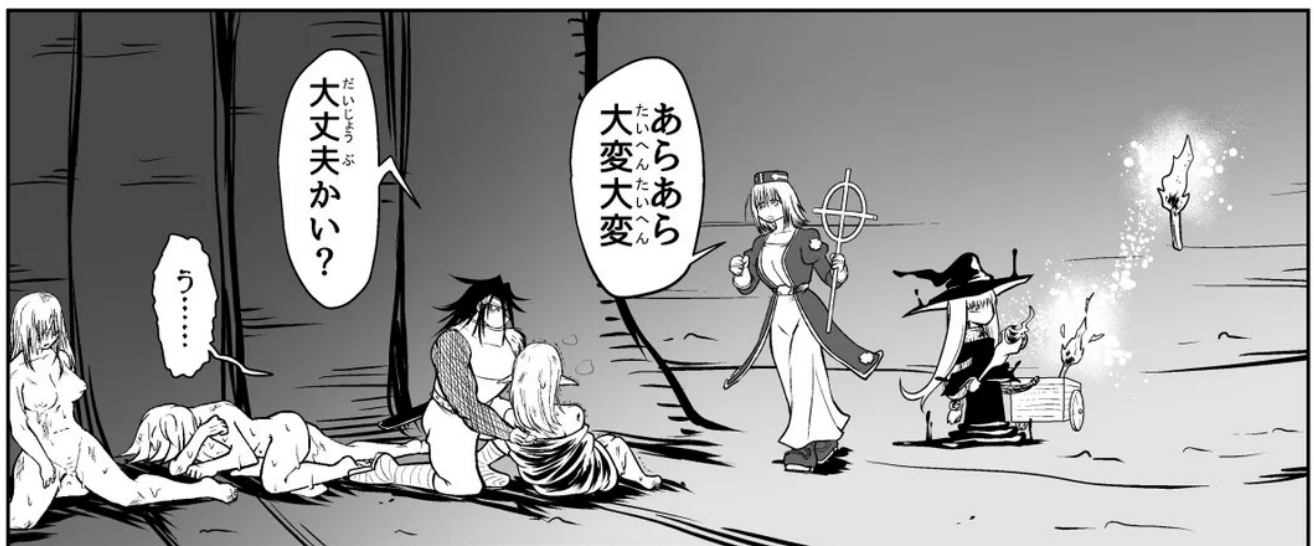
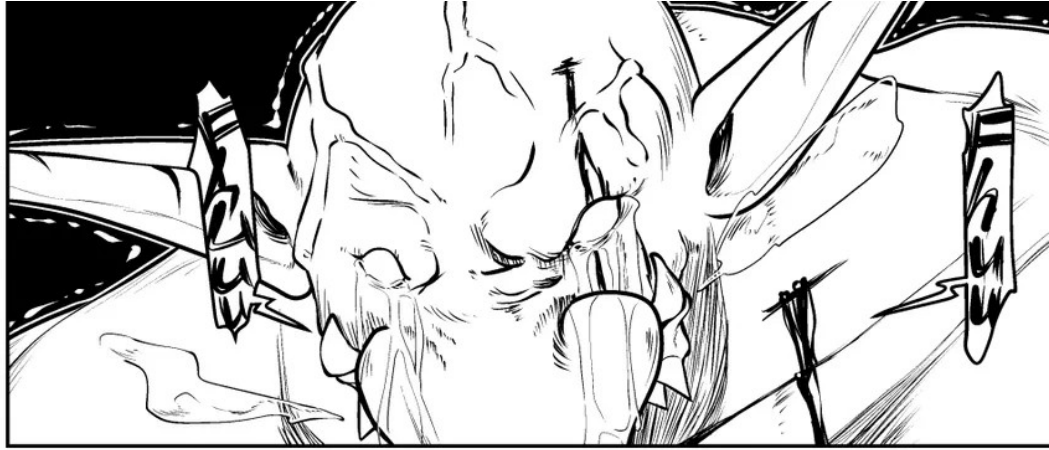
我が意に
応えよ













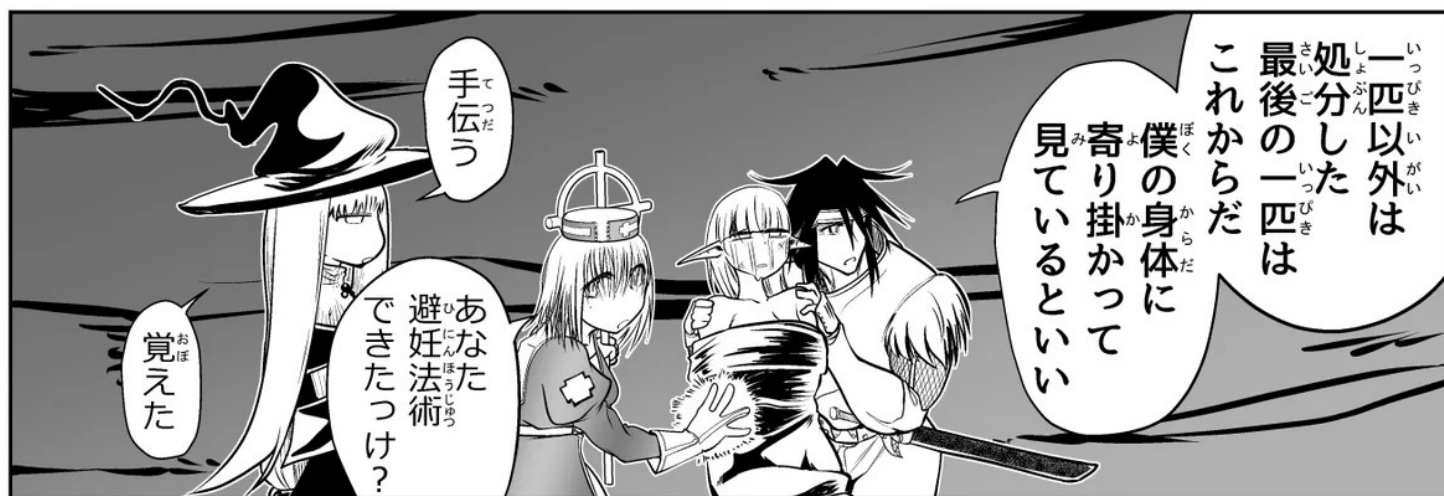
私の…仲間…
仇を……

殺して…

あいっら…



ボン
ボン
……

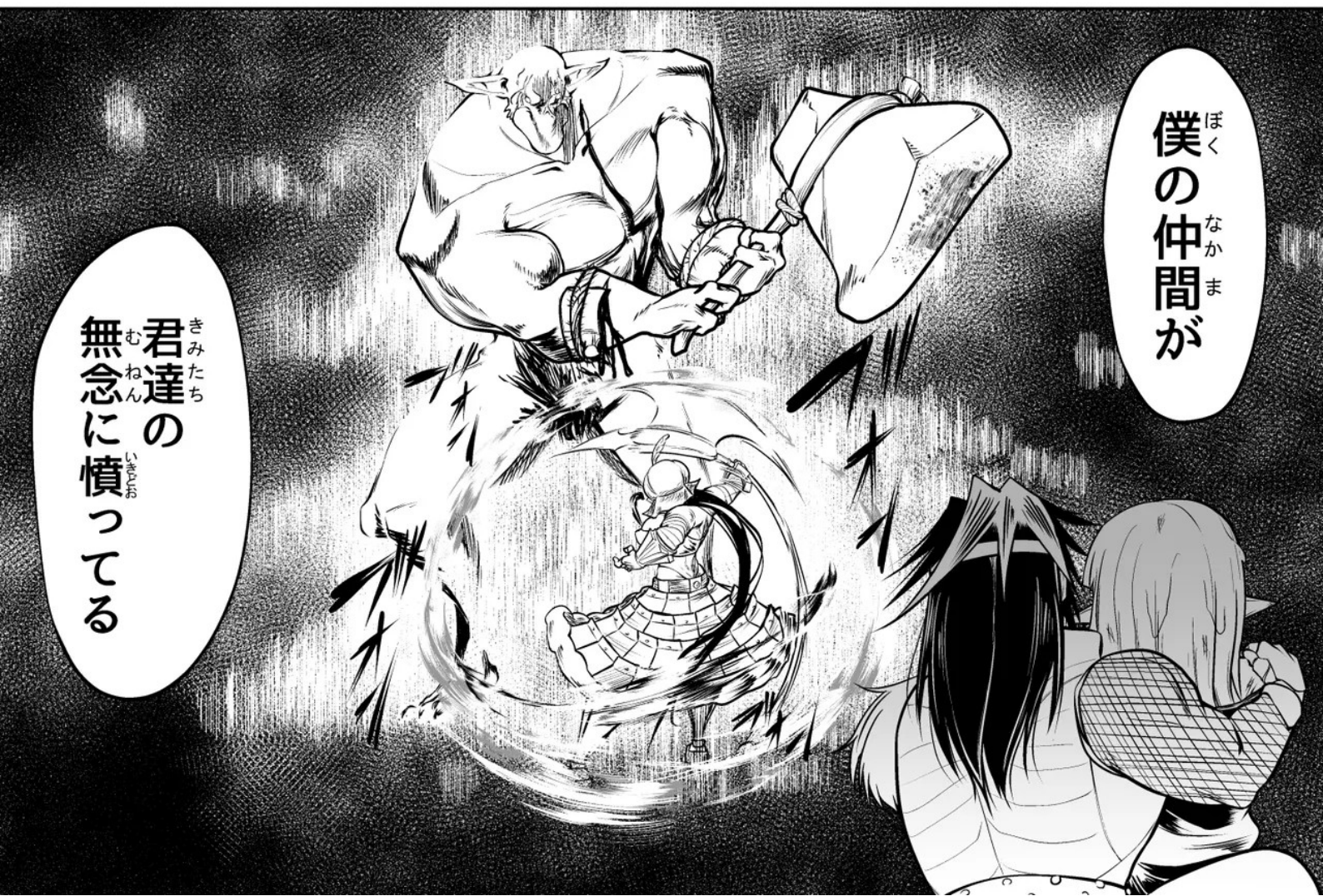


手伝う

おぼ
覚えた

あなた
避妊技術
できたっけ？

一匹以外は
処分した
最後の一匹は
これからだ
僕の身体に
寄り掛かって
見ているといい



僕の仲間が

君達の
無念に憤ってる

あらひめぎみ
荒姫君

マリアーテ・テテ・ファッギン

その真骨頂は

しんにこつちよう

先ほど見せた
40体のゴブリ
との力比べも
意に介さない
怪力と

平沢の女性
としては
恵まれた、
男性より頭二つ
飛び抜ける
上背を以て

その重さ実に牛一頭分
王家の粋を尽くし
鍛えあげられた

硬さと撓りを併せ持つ
特別拵えの戦槍斧を

ただ振り回す^{ふまわ}

だけである



強襲のタイミングを
見切り

都度、回転を
加速調整しなければ
成立しないこの荒業は

敵の攻撃を弾く度に
勢いを増してゆく



ひとすじ
筋の風が束ねられ

あらし
嵐を彷彿させる
いちだいせいりよく
大勢力は

なんこうふらく
難攻不落の
ようさい
要塞であり

こうせい
攻勢に転じれば

ひとたび

いっさいがつさい

一切合切の

ぼうぎよ
防御を
む
無視した

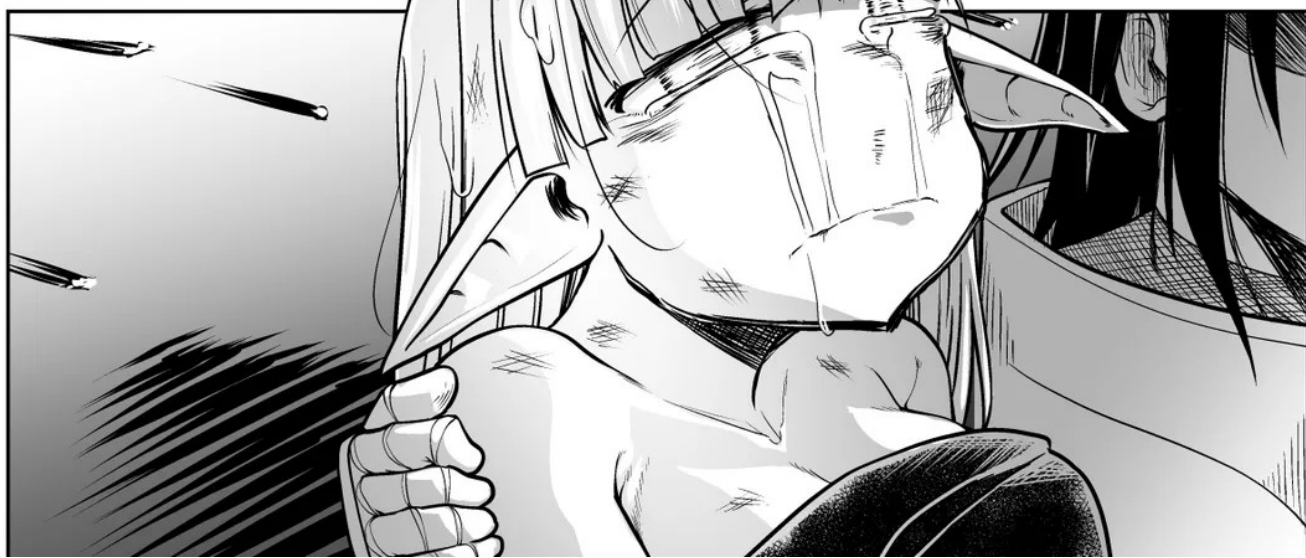
いちげきひっさつ
一撃必殺の

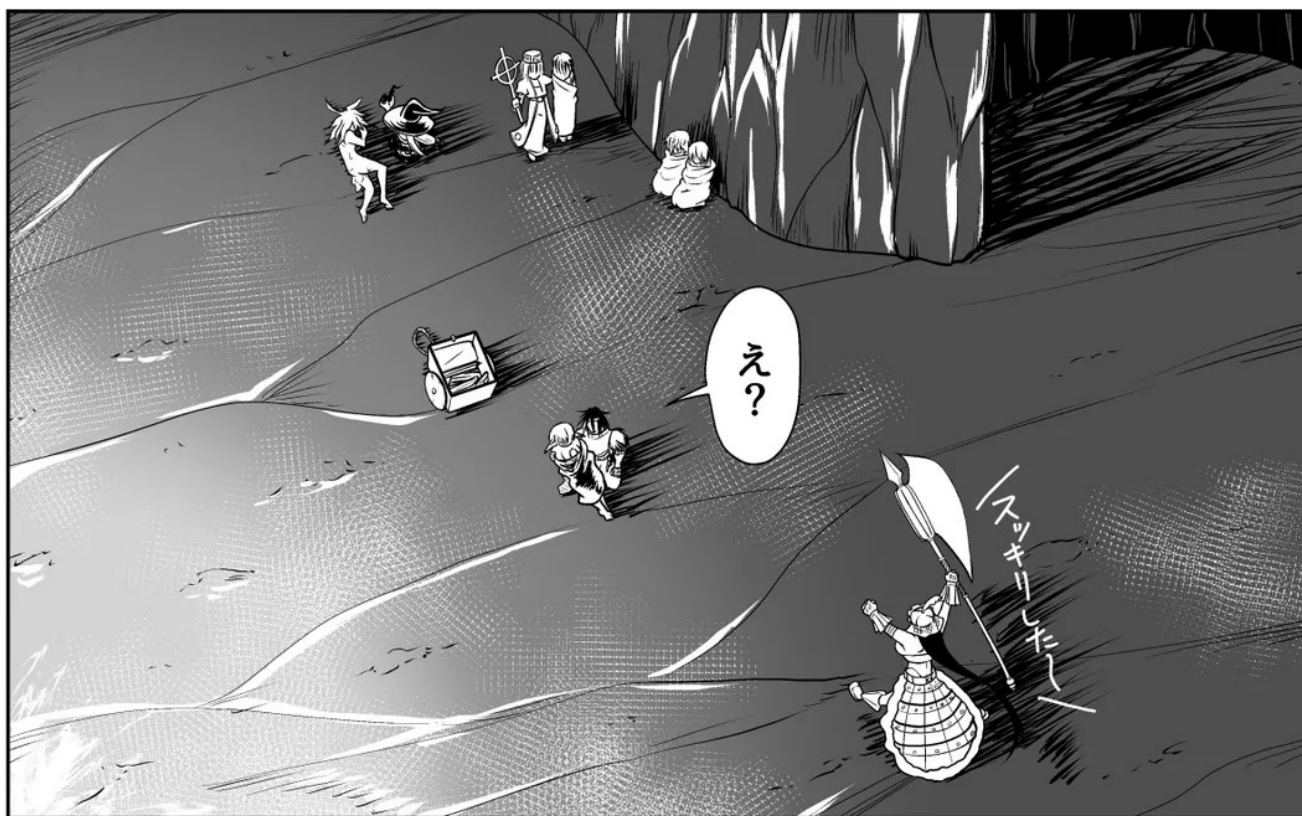
てん
天よりの
かなづち
神槌



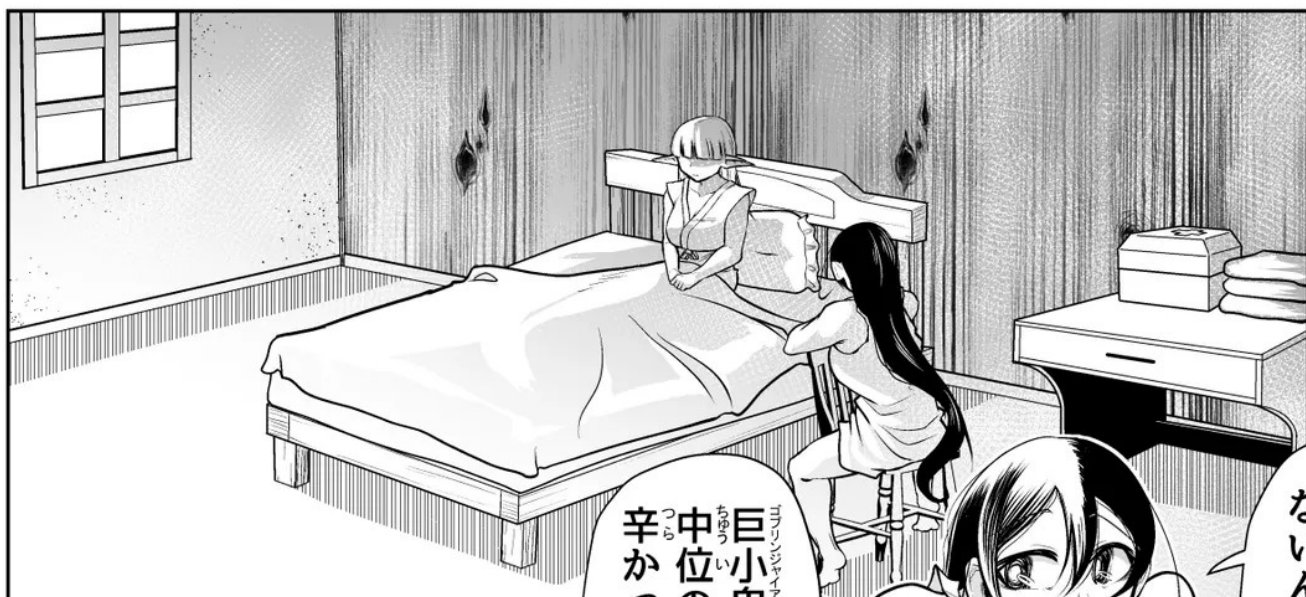
くろほらあな
暗い洞穴に舞い込んだ
りゅう
竜の風巻きは

とら
囚われた女のおんな
ひきうれ
の疵を
そっと撫でた





救世の勇者のやり部屋 Ⅲ



気に病む事
ないんじゃない？

巨小鬼2体は
中位のミデイ達には
辛かったと思うよ

本来なら小鬼の巣で
朽ちていたはずの
この身……

恩をお返し
したいのです



里の外で見る樹人は
奔放なのが多いけど
君はマジメちゃんだね

私 外界二世
ですから

父は平人です



条件が
3つある



この館^{やかた}に関する事柄^{ことば}、
仕事^{しごと}内容や場所等を
口外^{こうがい}しないこと

奉公^{ほうこう}に準じ^{じゆん}ること

はい

はい

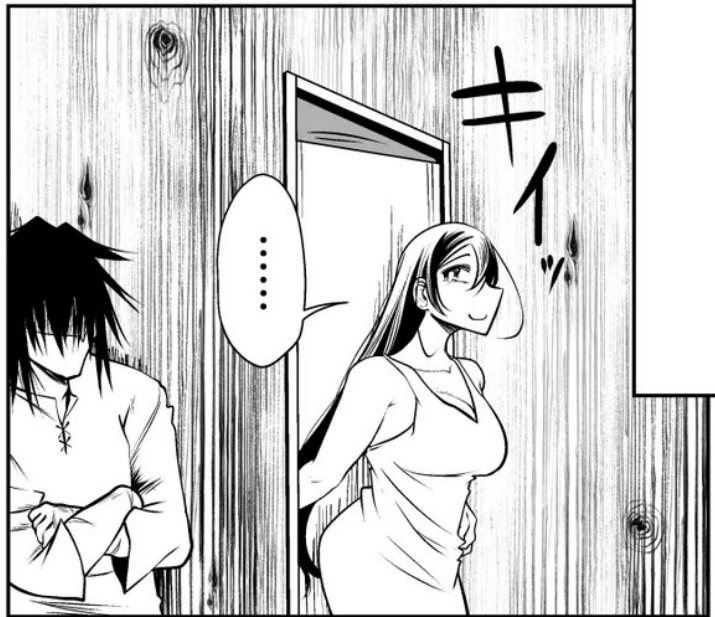


ミデイには
平等^{フエア}じゃ
ないから
今^{いま}言うね



最後^{さいご}の1つは
見習^{みなら}いが
終わ^おった^{つた}ら伝える

んだけど



：他の二人は
了承してるのか

聞いたわけ
じゃないけど

ソーラは多分わかってる
香を作ったり自分から
協力してる素振りあるし

エメアは
どうだろうね

聡い子だから
考えないように
してるんじゃないかな

モイの時
すぐ黙ったのは
そういう事
だと思う

君はどうなんだ

!

わたし
じゃ…
かてない
から

?

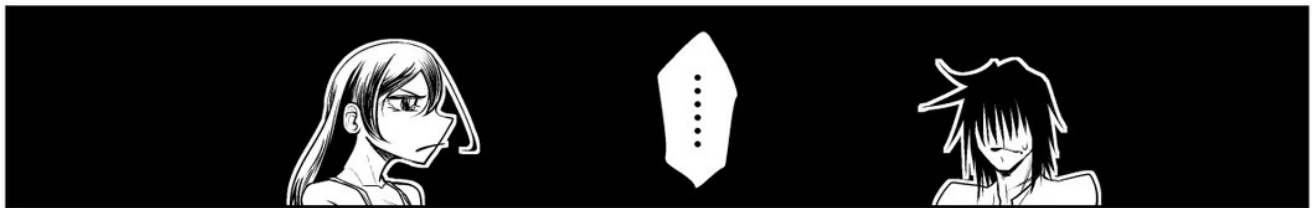
初めてモイを
抱いた時

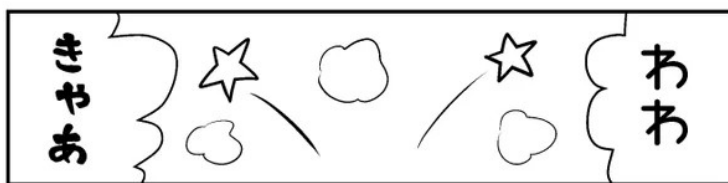
あの時妙に
軽かったよね

本当はゼフオントも
薄々気付いてたん
じゃないの?

なんでこの3年
誰にも手を出さ
なかったの?

この
好みの子
いなかった?

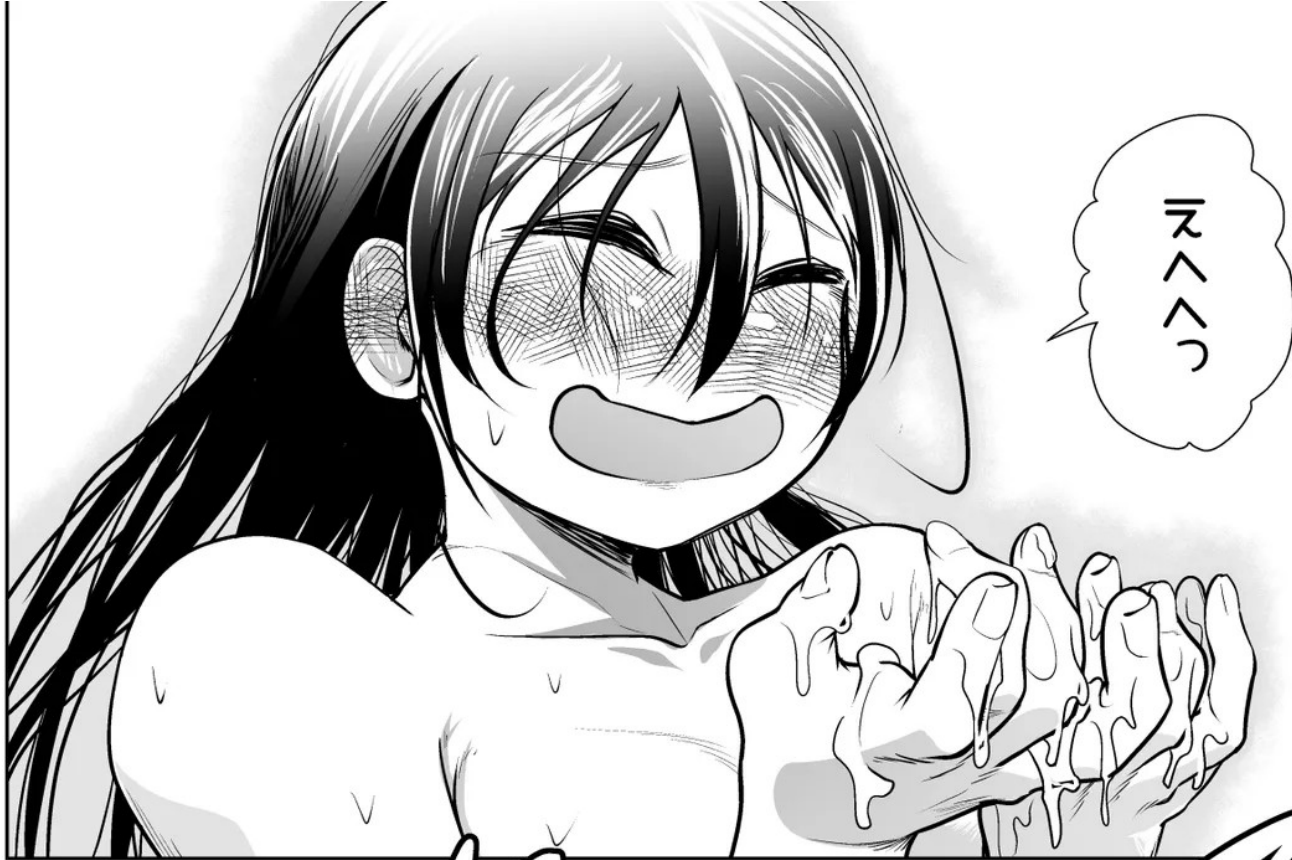








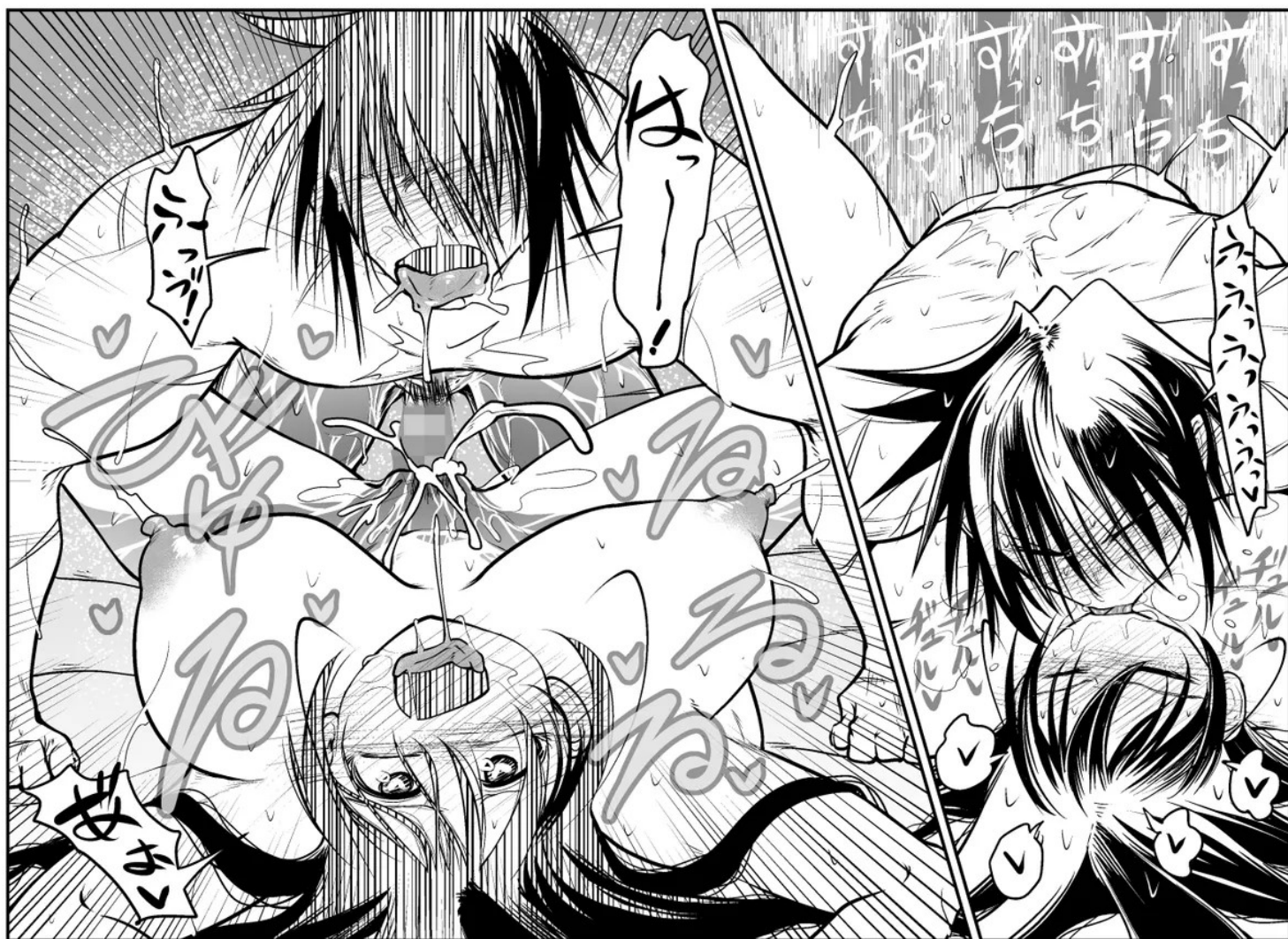




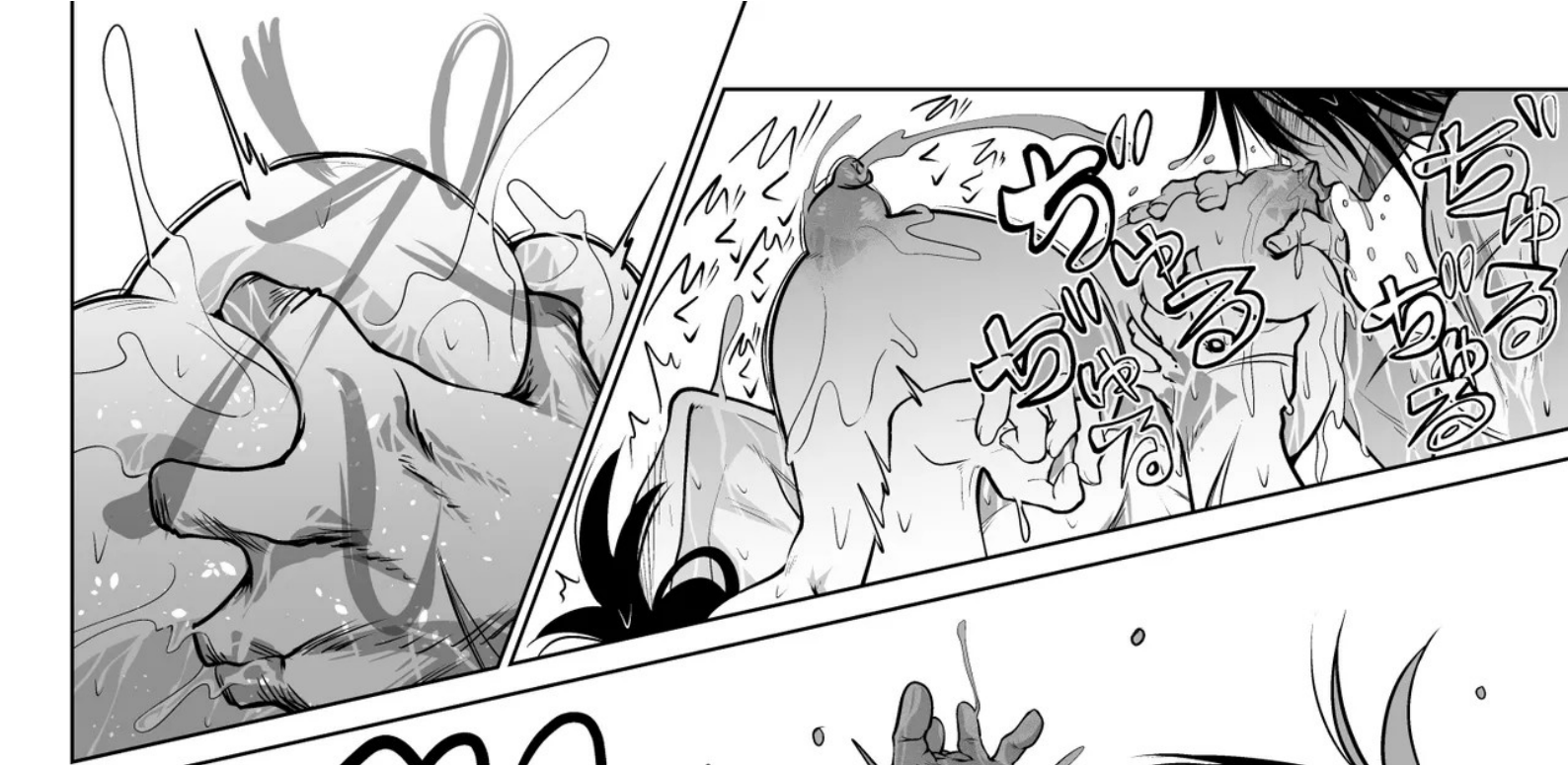




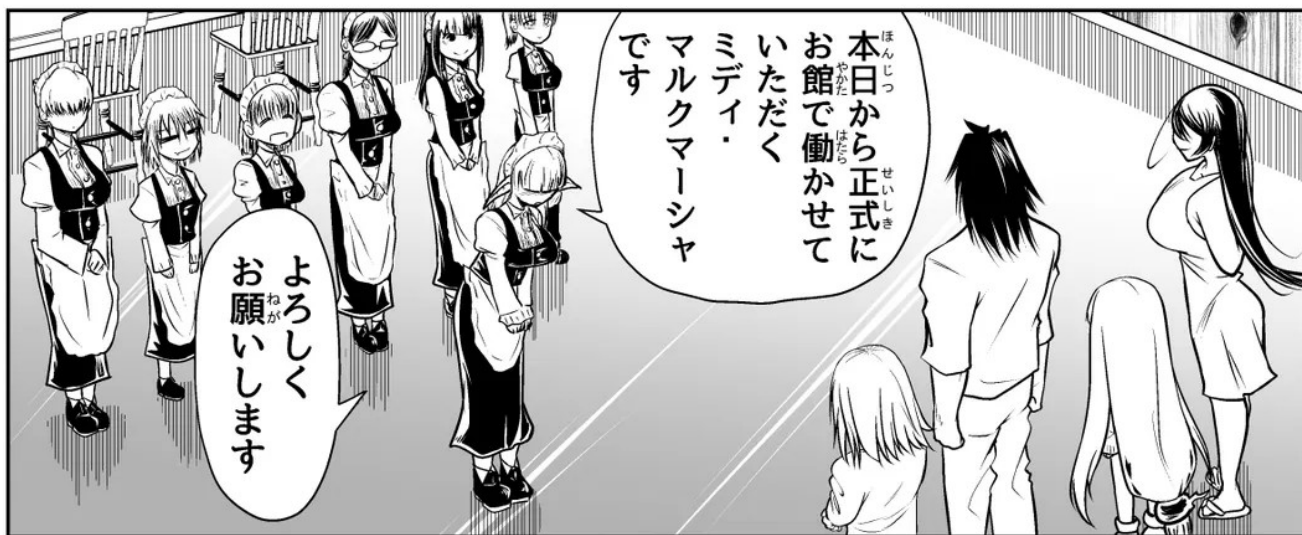












つづく...

GoBlin

ゴブリン

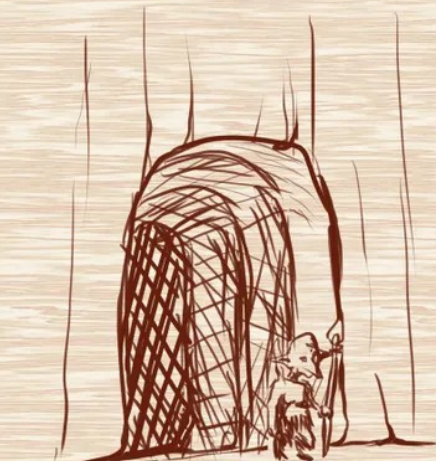
イーロジナス全土で確認できる亜人種。
魔物(人類に対して悪意を持つ生き物、及び物質の総称)の中では最弱とも伝わっている。

エイブマン
事実、平人の子供程度の背丈しか持たず、身体も脆弱で肉体の治癒能力も弱い。
扱える道具も単純で軽い物が関の山である。

しかし性格は残忍で悪辣。狡猾な略奪民族で、十頭単位の群れで行動する。

人類種と交配する事で数を増やし、成長した個体は様々な高位種へと変異する。

数匹の群れを運悪く討伐できず、大きな巣を構築されてしまうと下位、中位冒険者では持て余す規模の懸案クエストとなってしまう。小規模のうちに積極的に退治しておきたい魔物だろう。



洞窟や打ち捨てられた廃墟、遺跡などに棲み付く。規模が大きくなると新しい住居に移り住む。人類種の村や町を襲い、そのまま乗っ取るという事件も度々起こっている。

独自の言語を用い、上位種になると人類言語を修得することもある。



ホブゴブリン

ゴブリンの上位種。通常種よりも大きく変異し、オーク種ほどの上背、怪力を有する。肉体の強度、治癒能力は通常種と同程度ほどである。



ゴブリンシャーマン

魔法を会得したゴブリン。個体によって魔術に秀でていたり、法術を用いたり、まちまち。通常種よりも知能が高く、群れの頭目となっている場合が多い。シャーマンの率いる群れは狡猾さが高く、より危険な懸案と言える。



ゴブリンジャイアント

通常種を魔術的に強制変異させた上位種。主に魔王領で遭遇する事が多い。樹木ほどの上背、驚異的な怪力、硬い肉体、高い治癒能力を持ち、その脅威度は小鬼と呼ぶには不釣り合いと言える。魔王討伐後は魔王領外にも出没するようで、各国はその対応に追われている。

無理矢理変異させているので、身体のだこかが不自然に肥大化していたり、多くの場合、生殖能力を有していない。



ファイングレードモス(雪毛蛾)

小型の犬ほどの大きさ。微弱だが麻痺毒のある鱗粉をまき散らす。



冬の知らせ来たる

この時期の風物詩といえば、暖かい羽毛を持つファイングレードモス(雪毛蛾)の採取依頼だろう。防寒具にはもちろん、寝具にも使われる人気の羽毛だが、この蛾が先日、ファッギン北西のバイオッツ山に初確認された。秋から冬にかけては雪毛蛾の活動時期である。これを受けて冒険宿は採取依頼を発注、冒険者の冬が始まった。



鎚人国家メカノフェーア
ディハン=マッサーザー国王

巨軀、墜ちる

冬の準備に追われるファッギンの冒険宿に衝撃が走った。看板冒険者のダイン=オーグル中位冒険者(準巨人・闘者)がファッギン西方の街道で横死することになったのだ。ダイン氏他2名の一行はニックド=レイ商会の馬車の護衛中だったと見られ、現場には破壊された商会の馬車、準巨人の遺体、平人2名の遺体が

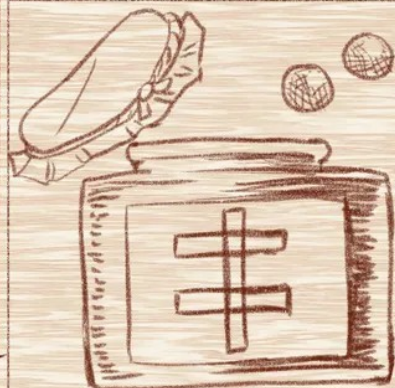


ダイン=オーグル中位冒険者
その巨軀から名物冒険者
としてファッギンの城下町
では名を馳せていた

遺されており、小鬼の死体が同様に散乱していた。ダイン氏といえば一時は上位冒険者にも登録されていたほどの実力者である。小鬼の群れに敗北を喫すとは考え難く、冒険宿は近辺に小鬼以上の脅威が潜伏していると見て、警戒を強め情報を集っている。

猛る国メカノフェーア

公国領域に侵入した魔物がメカノフェーアの兵装を所持していた問題で、交渉が難色を示している。曰く、「魔王没後メカノフェーア兵が魔物に殺害されたという記録は無く、兵装が強奪されるなど有り得ない。兵装はファッギン公国の偽装である」という。メカノフェーアとは【救世】の勇者の処遇について争論した経緯がある。今回の問題を足がかりに、【救世】の勇者の処遇を再論させる狙いではないか、と関係者は見ている。



一粒吞めば風邪予防 二粒吞めばスタミナ剤
三粒吞ませて熱い夜のお供に♥

キセメック丸薬



奥付

発行：Verみみずく

発行者：こみずく

発行日：2023/2

twitter：@C0mizk

◇本作品はフィクションです。

実在の人物・団体・事件などには
一切関係ありません。

◇本作は成人向け書籍です。

18未満の閲覧、購読を禁じます。

◇本作を無断で転載・複製・配信・送信
する等を禁止します。